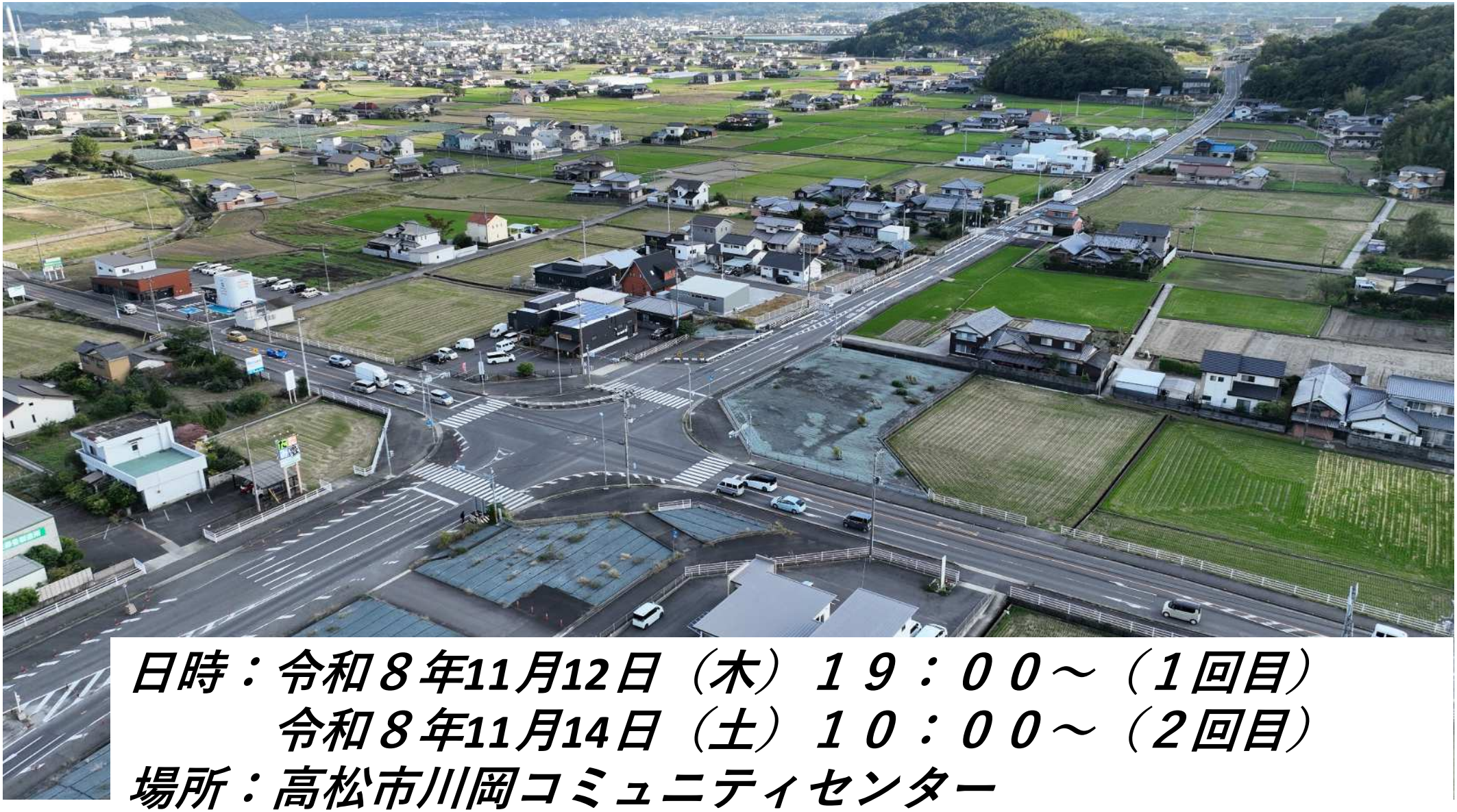
空港連絡道路　県道円座香南線（香南工区）

事業説明会



日時：令和８年11月12日（木）１９：００～（１回目）
　　令和８年11月14日（土）１０：００～（２回目）
場所：高松市川岡コミュニティセンター

【説明内容】

１．事業概要と整備状況

２．整備方針及び詳細設計の内容について

３．今後の事業の進め方について

1．事業概要（事業の進め方）

■事業の流れ

都市計画決定

前回の説明会

現地測量・地質調査

1 調査説明

計画道路の概要を関係者の方々に説明し、測量・地質調査のために土地立入の了解をお願いします。





2 現地測量・調査

設計に必要な地形の調査として、現地の詳しい測量や土地利用状況の調査などをします。

今回の説明会

道路設計

3 線形案作成

現地の地形状況などを反映して、線形案を作成します。



4 設計協議

線形案を元に、関係者の方々と具体的な設計内容について協議します。

5 現地協議

現地に道路の予定幅を示す目印を設置して、道路の構造（高さ・水路・側道・取合わせ等）について、関係者の方々と現地で協議します。

6 詳細設計

協議内容を反映して、設計を確定します。



7 幅杭設置（道路用地確定）

用地調査・交渉

8 境界立会

道路用地にかかる土地の境界について確認するため、地権者の方々の立ち合いをお願いします。

9 用地調査

土地・建物・立竹木など、補償対象となる物件の調査を行います。



10 用地補償説明・交渉

関係者の方々に用地補償の説明・交渉を行い、契約・支払いを行います。

11 工事

状況に応じて、事前に説明会を行います。



完成（開通）

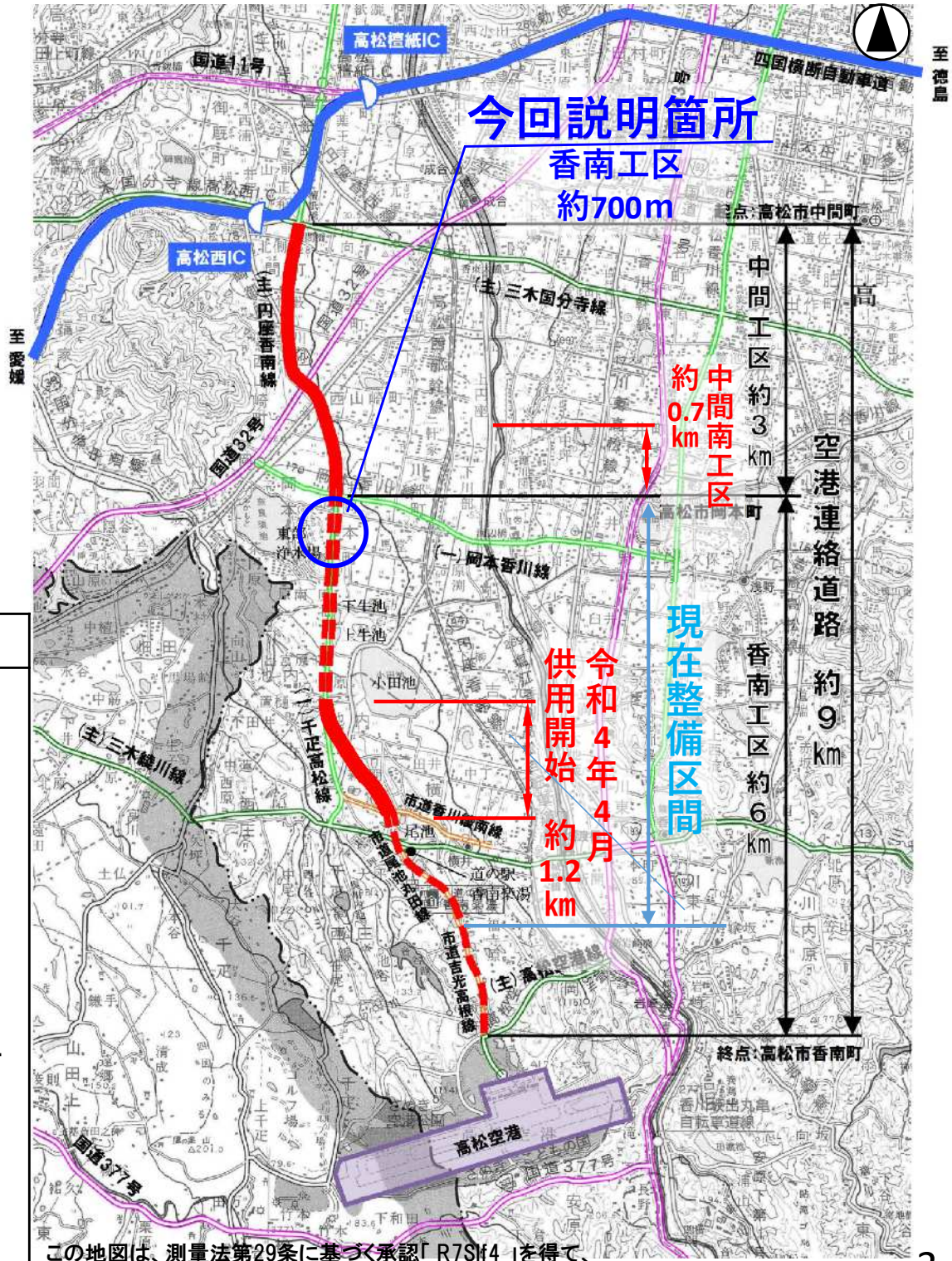
1．事業概要について

◆事業目的

○高松自動車道（高松西IC、高松檀紙IC）
　と高松空港とのアクセス性の向上
○道路交通の円滑化
　（並行幹線道路における交通渋滞緩和）
○大規模災害時における緊急輸送道路
　（広域移動ルート）の確保

◆計画概要

延長	約9km
事業の経緯	【中間工区（暫定完了）】 平成10年度　都市計画決定 平成11年度　事業着手 平成23年3月　側道（2車線）を全線供用 平成30年3月　側道＋立体交差部 （高架）暫定2車線供用 【中間南工区（整備中）】 令和8年度　都市計画決定の変更及び事業着手 【香南工区（整備中）】 平成29年度　都市計画決定 平成30年度　事業着手 令和4年4月　バイパス区間供用（L=1.0km）

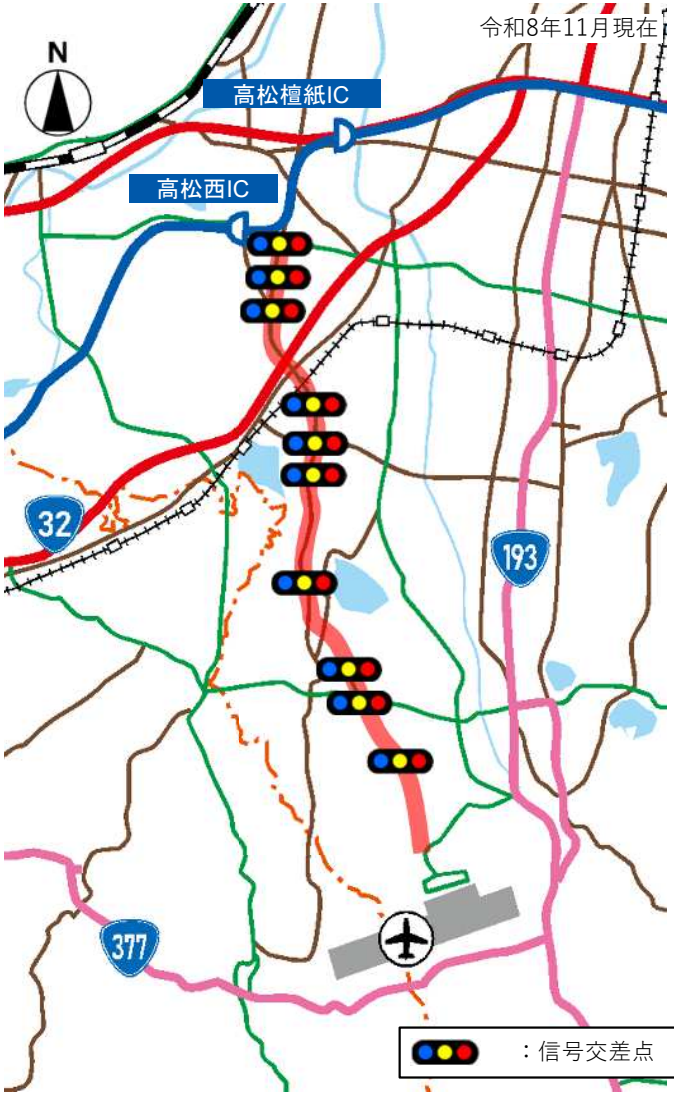


この地図は、測量法第29条に基づく承認「R7SIf4」を得て、
国土地理院発行の5万分の1地形図を複製したものを、一部連載したものである。

空港連絡道路の必要性　【①空港アクセス】

・現在、高松西IC～高松空港入口交差点には、信号交差点が10箇所あり、スムーズなアクセスに支障がある。
・愛媛県や高知県は、高速道路と空港をつなぐ高規格道路が整備されており、相対的に高松空港へのアクセス性が低い。
・高松空港利用者は令和7年度に過去最高の222万人。空港機能の増改修工事を行っており、利用者のさらなる増加が期待される。

高松西IC～空港入口交差点の信号箇所

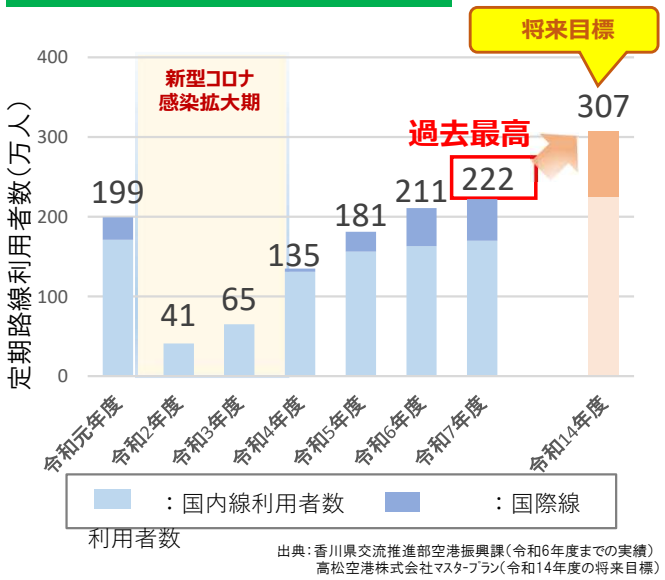


空港⇔高速ICの高規格道路整備状況





高松空港の定期路線利用者数



出典：香川県交流推進部空港振興課（令和6年度までの実績）
高松空港株式会社マスタープラン（令和14年度の将来目標）

高松空港国際線エリア増改修

（2027年春頃グランドオープン）

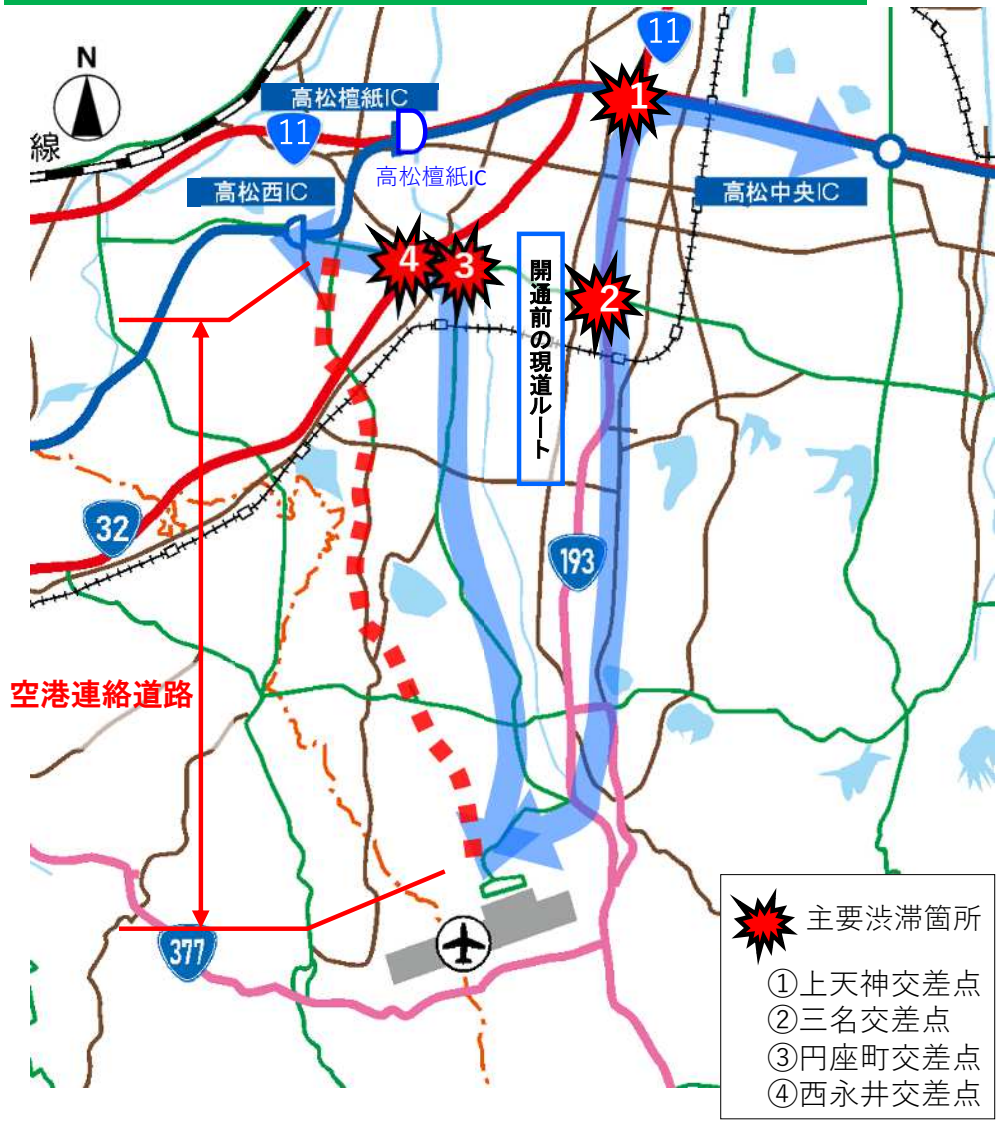


高松空港株式会社提供の画像に加筆

空港連絡道路の必要性　【②交通の円滑化】

・市内中心部から空港へのアクセスは国道11号・国道193号に集中し、混雑している。
・国道11号、国道193号、高松西IC～国道193号には主要渋滞箇所が多数存在している。
・国土交通省において、高松市臨海地区と高速道路をつなぐ高松環状道路（福岡町～檀紙町）の検討が進められている。

高速道路と空港を結ぶ既存のアクセスルートと主要渋滞箇所





渋滞状況（③円座町交差点）



渋滞状況（②三名町交差点）

高松環状道路（福岡町～檀紙町）



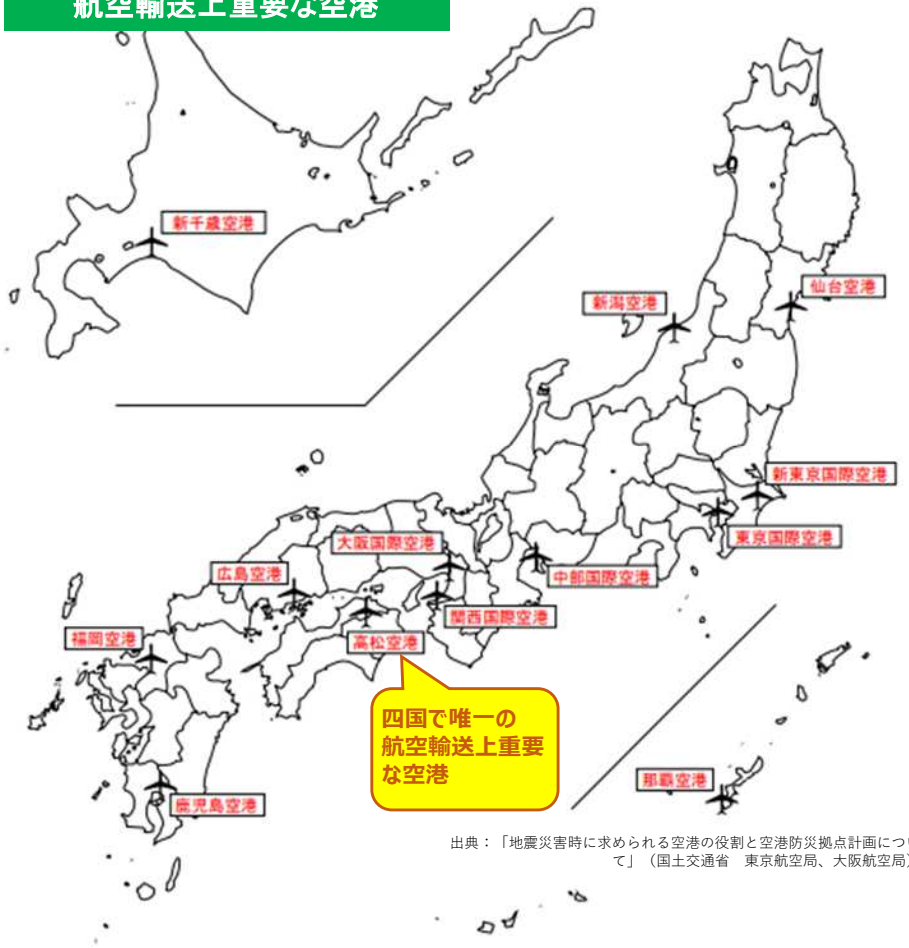
出典：国土交通省四国地方整備局　令和6年度　第1回　社会資本整備審議会　道路分科会　四国地方小委員会　資料ー2から抜粋

空港連絡道路の必要性　【③災害時対応】

・高松空港は四国で唯一の「内陸型」で「航空輸送上重要な空港」に位置付けられている。
・高松空港は災害時にDMAT※の参集拠点候補地となっており、高松空港から四国4県へ展開する計画となっている。

※　DMAT：災害時派遣医療チーム（災害急性期に活動できる機動性をもったトレーニングを受けた医療チーム）

航空輸送上重要な空港



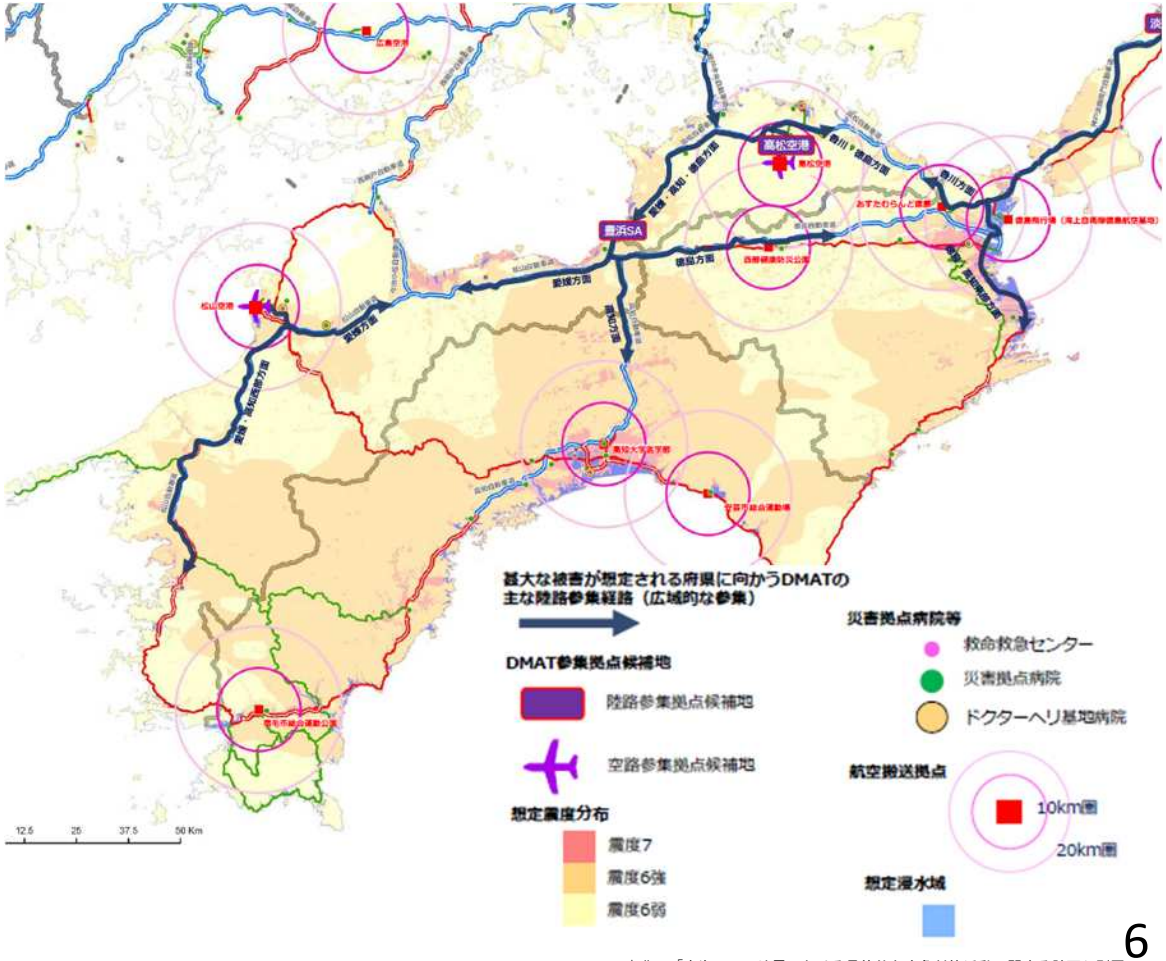
出典：「地震災害時に求められる空港の役割と空港防災拠点計画について」（国土交通省　東京航空局、大阪航空局）

四国4県の空港の標高

空港	標高
高松空港	184.9m
徳島阿波おどり空港	11.4m
松山空港	4.0m
高知龍馬空港	8.7m

DMATの陸路参集イメージ

「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画（令和７年６月３０日）（中央防災会議幹事会）」において、高松空港は陸路と空路の参集拠点候補地となっており、香川から徳島県の西部地域、愛媛県の東予地域、高知方面へ展開する計画となっている。



出典：「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」別図4-1

1．整備状況について


至　高松空港
平面構造
東部浄水場
山池
擁壁構造
橋梁構造
信号交差点
市道岡本川部線
川岡交差点
県道岡本香川線
自　高松西IC

2．整備方針について（信号交差点部）

◆現況

・平面交差（信号あり）

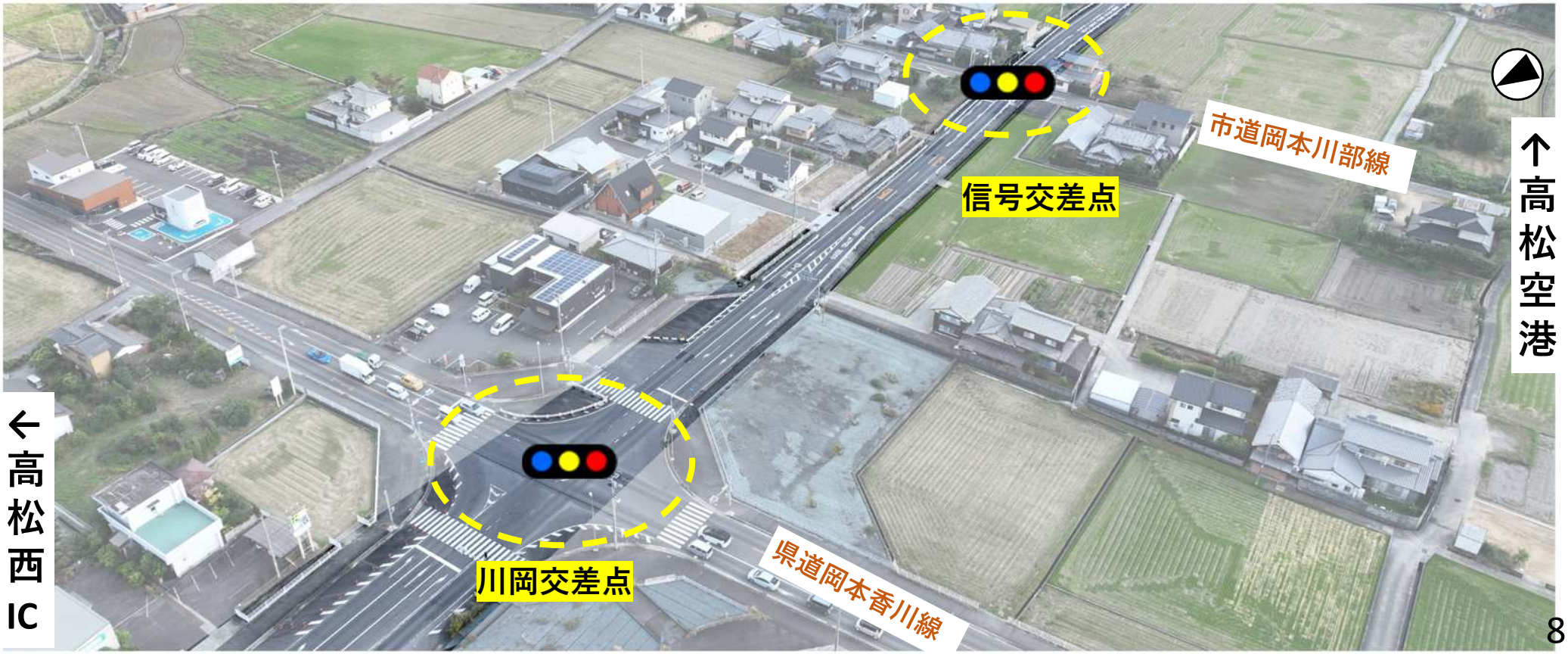
◆空港連絡道路の必要性（目的）から整備方針を検討

・高速道路から空港までのアクセス性の向上（定時性の確保）
・道路交通の円滑化（交通渋滞の緩和）
・緊急輸送道路の確保

→ **交差点の立体化**

◆交差点の立体化に伴うその他の効果

・ 速度の速い通過交通と地元の生活道路利用者の分離により、交差点での事故リスクが減少

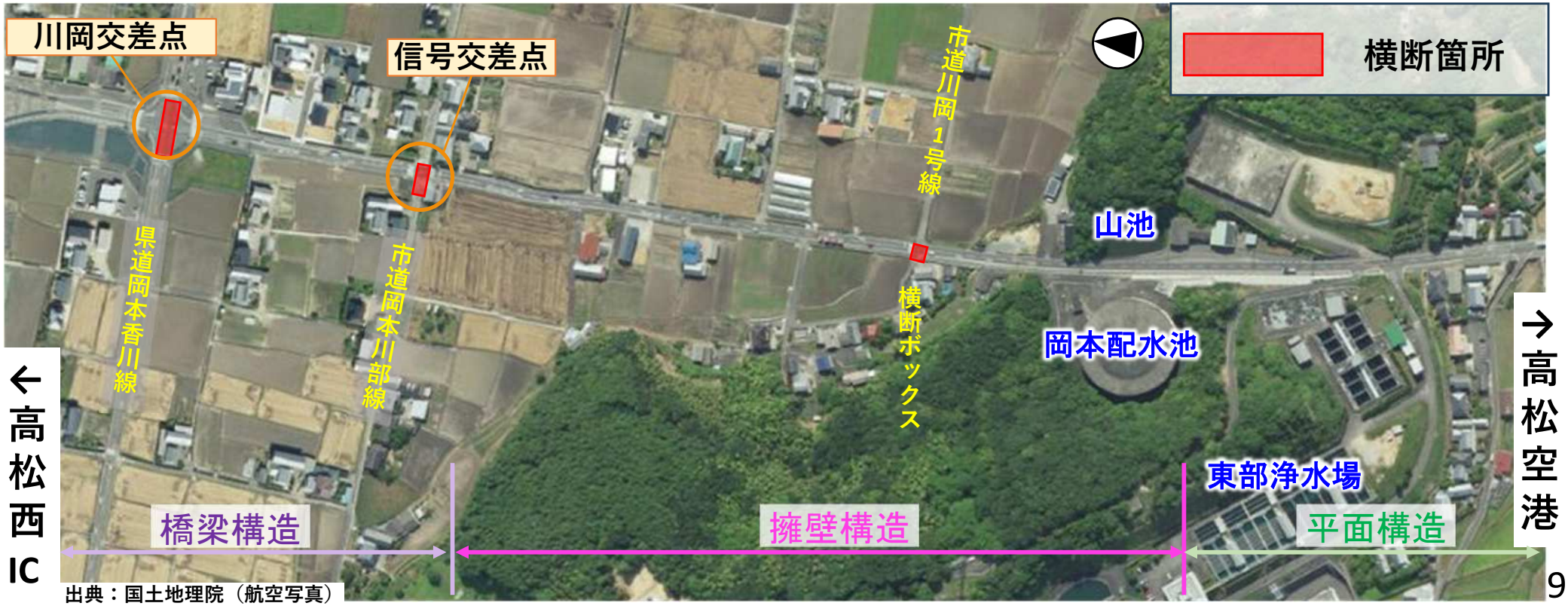


2．整備方針について（信号交差点部）

◆『立体構造の検討』における前提条件

・地域高規格道路としての走行性の確保
・川岡交差点のクリアランス（H=4.7m）を確保
・信号交差点のクリアランス（H=4.5m）を確保
・横断箇所での事故リスク低減

『橋梁構造』を採用



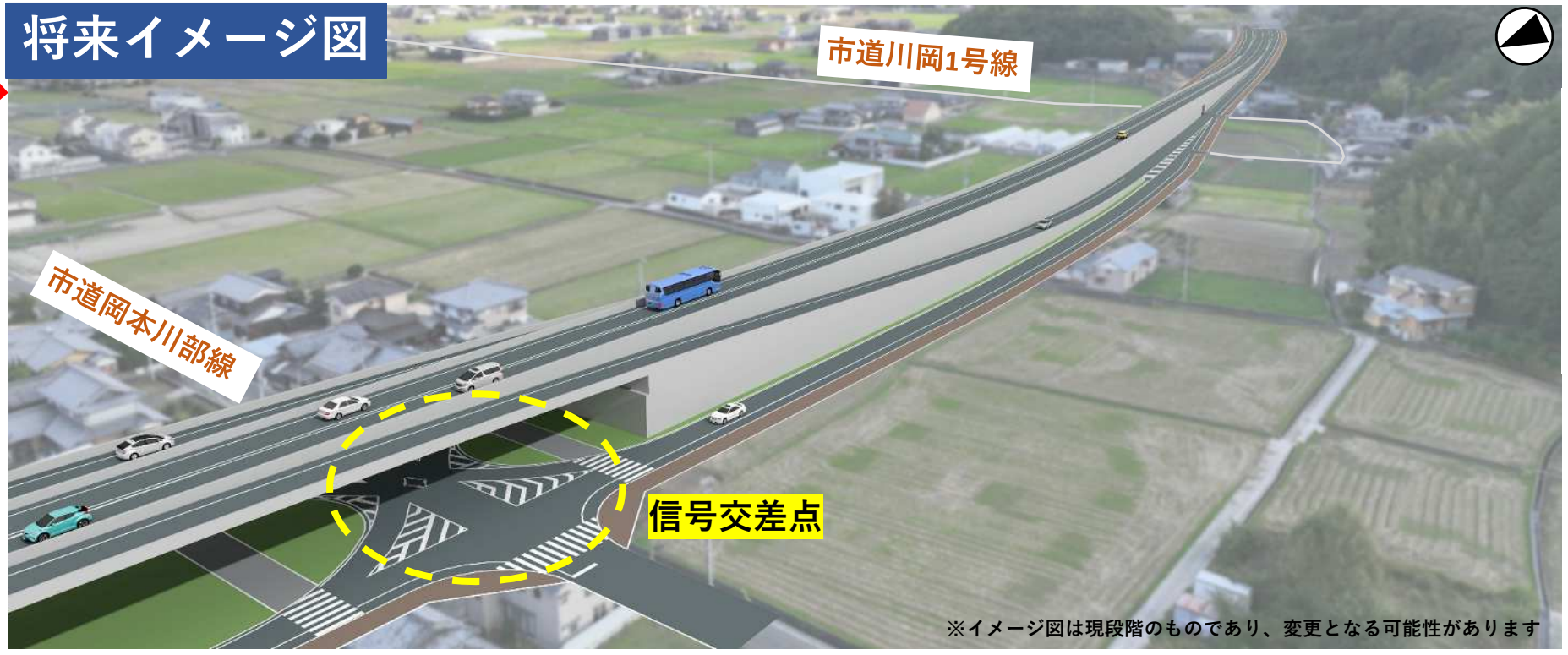
出典：国土地理院（航空写真）

2．整備方針について（将来イメージ図）

現況写真



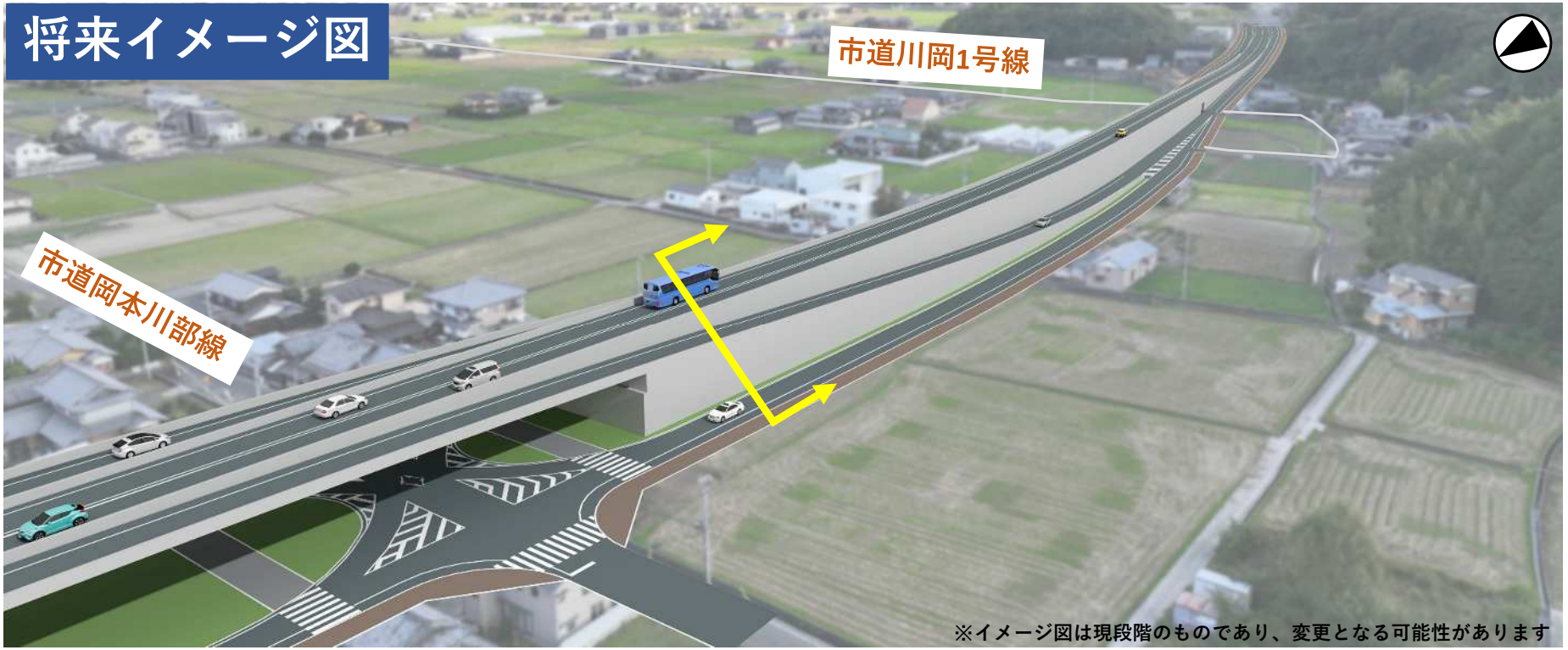
将来イメージ図



※イメージ図は現段階のものであり、変更となる可能性があります

2．整備方針について（標準断面図：ランプ部）

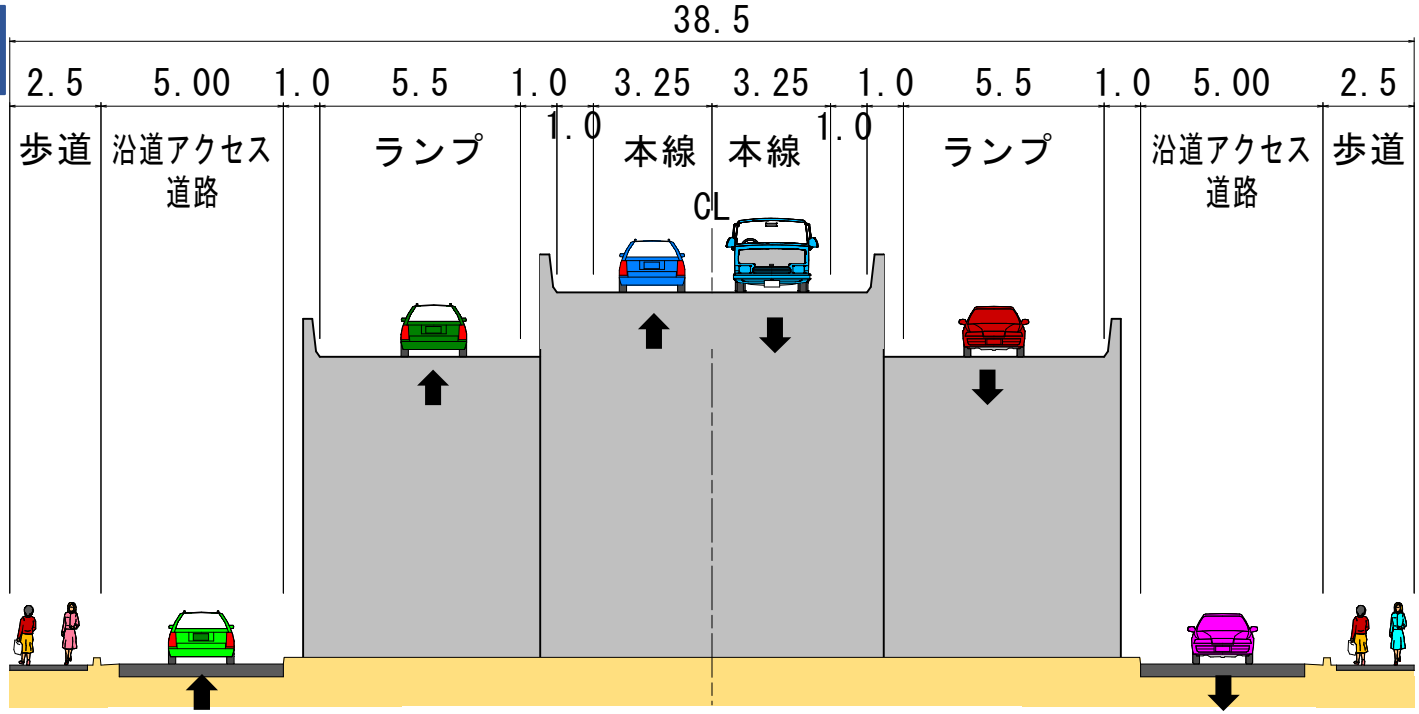
将来イメージ図



← 高松西IC

↑ 高松空港

横断面図



2．整備方針について（標準断面図：ボックス部）

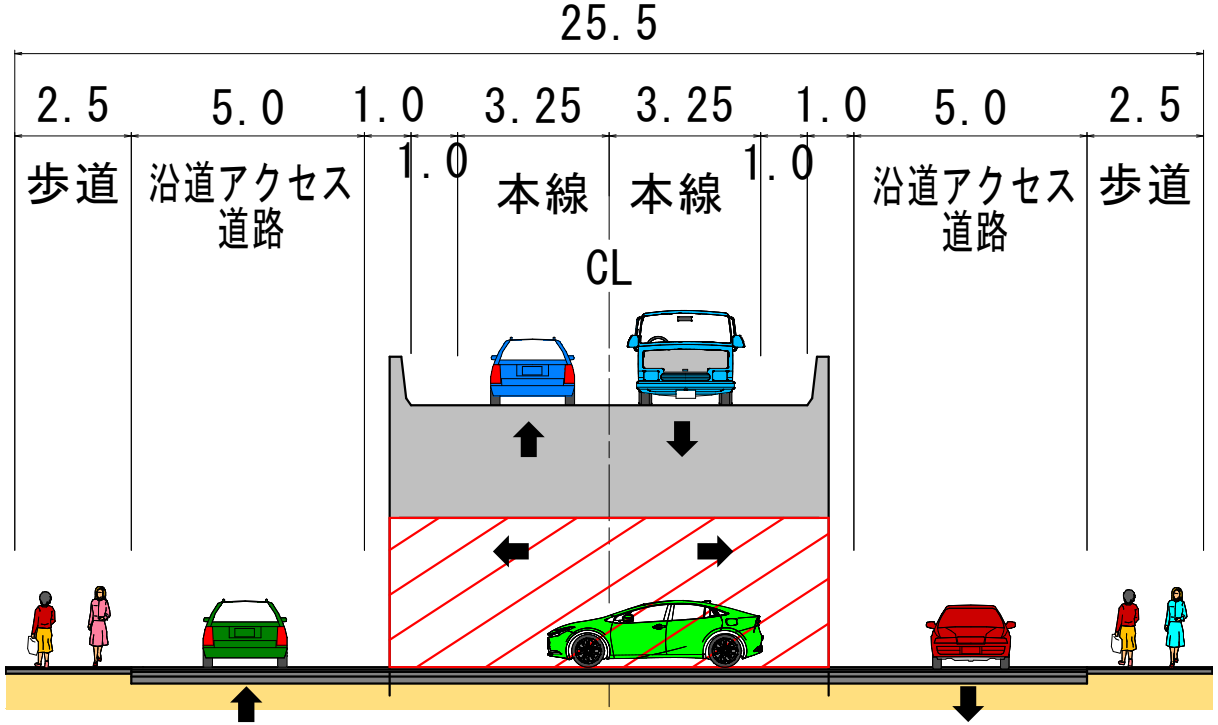
将来イメージ図



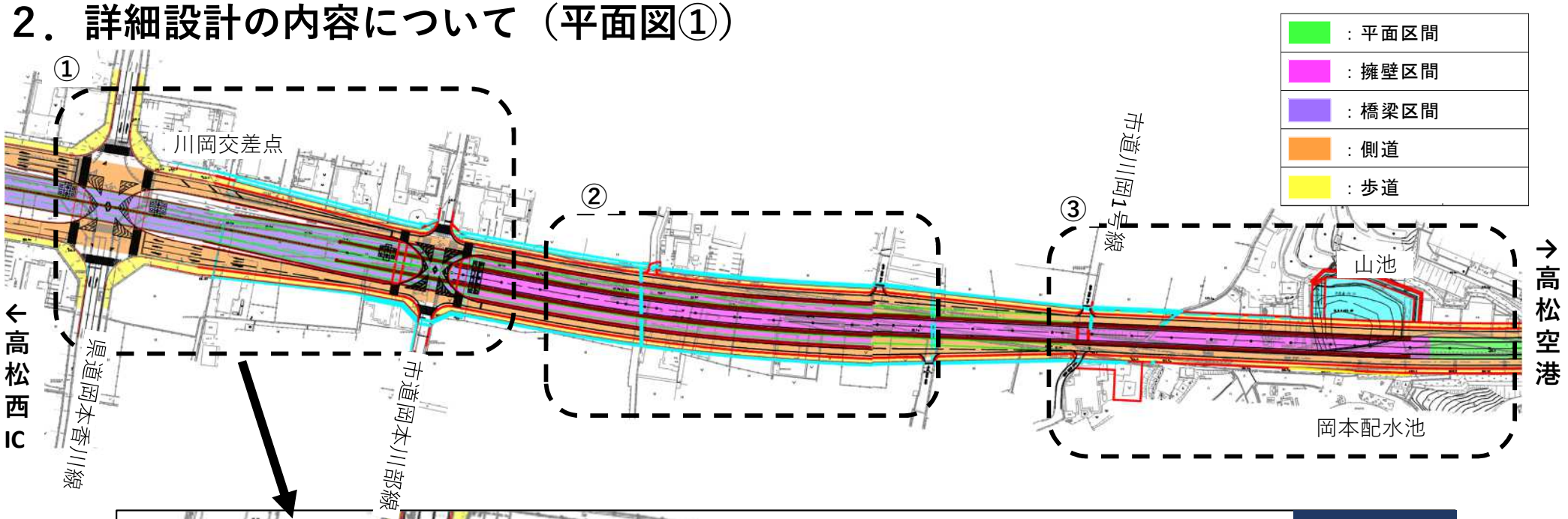
←高松西IC

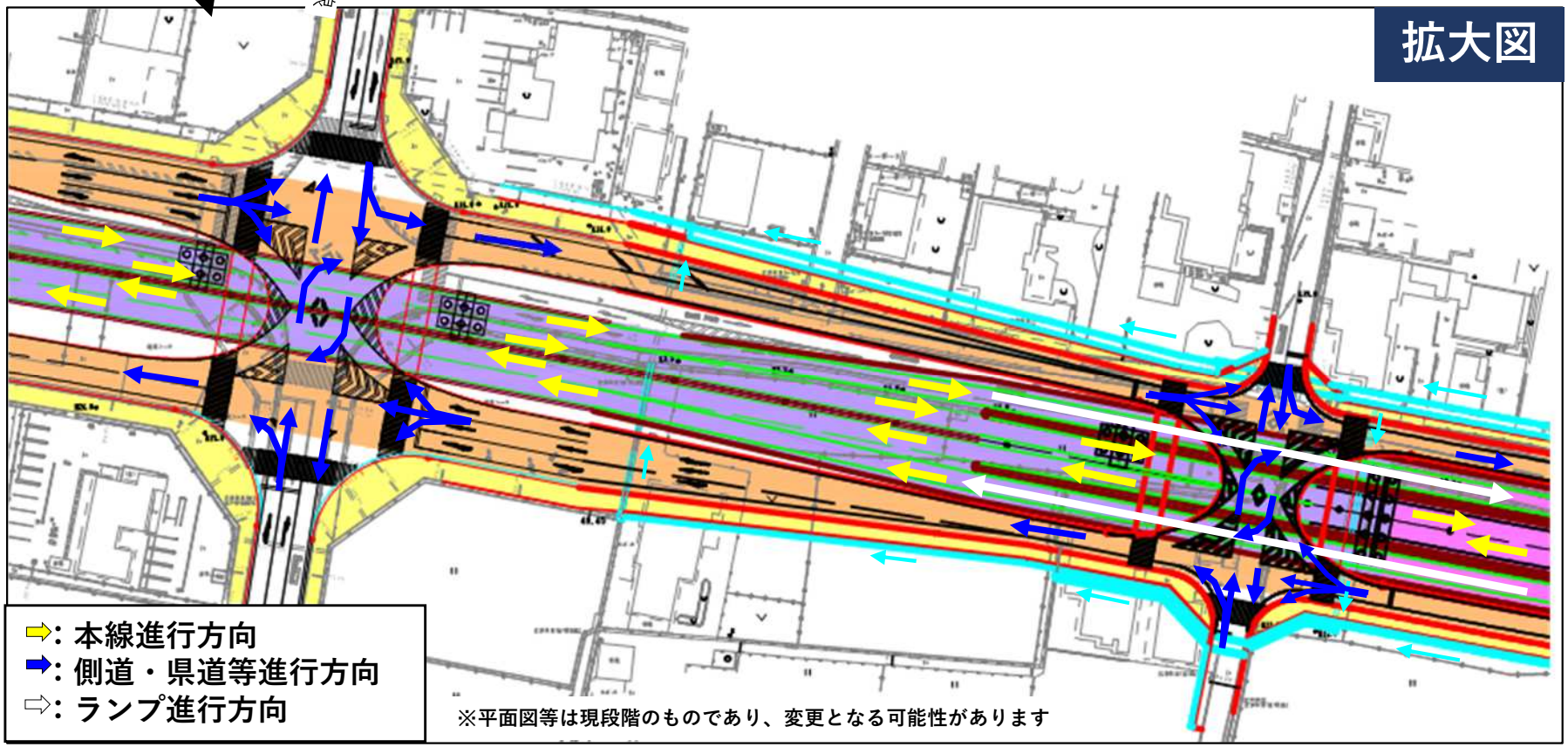
↑高松空港

横断面図



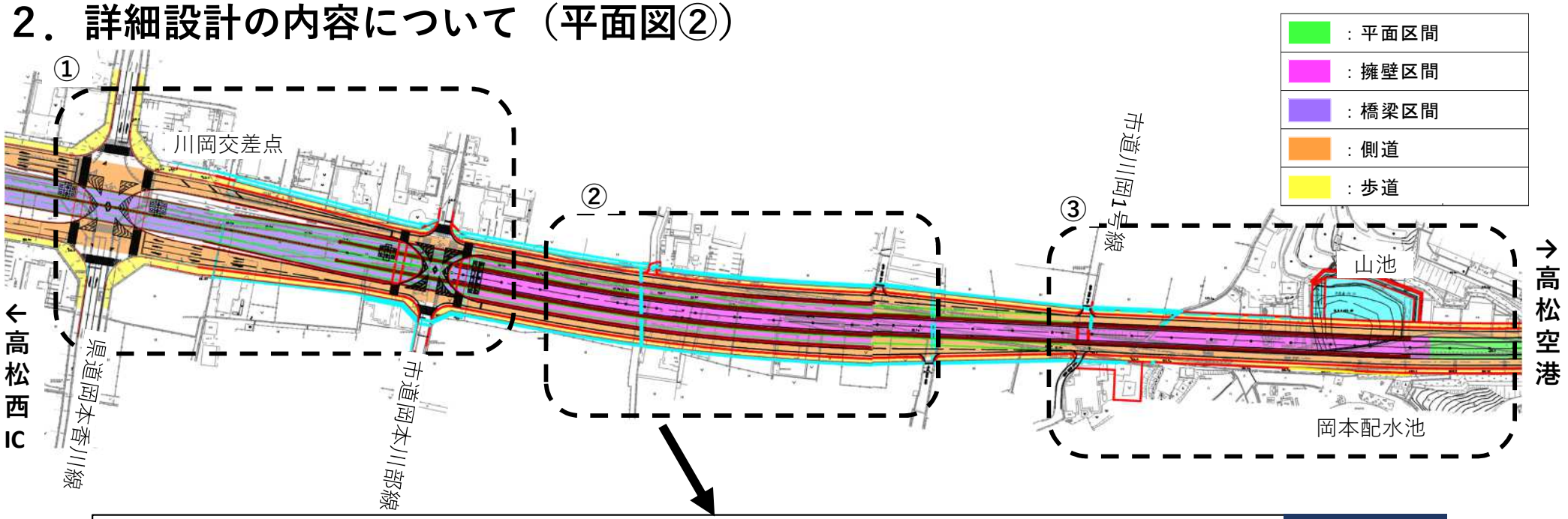
2．詳細設計の内容について（平面図①）

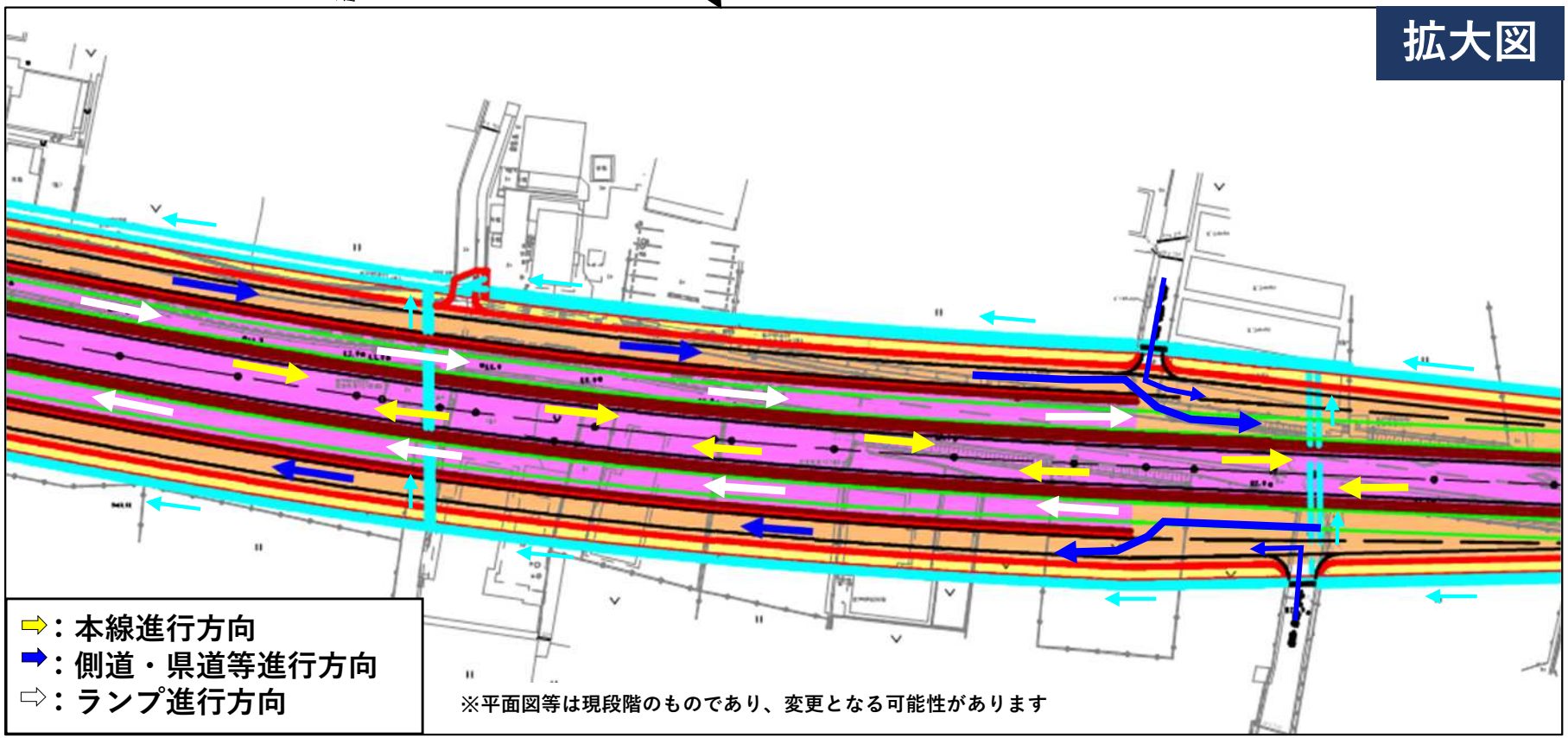




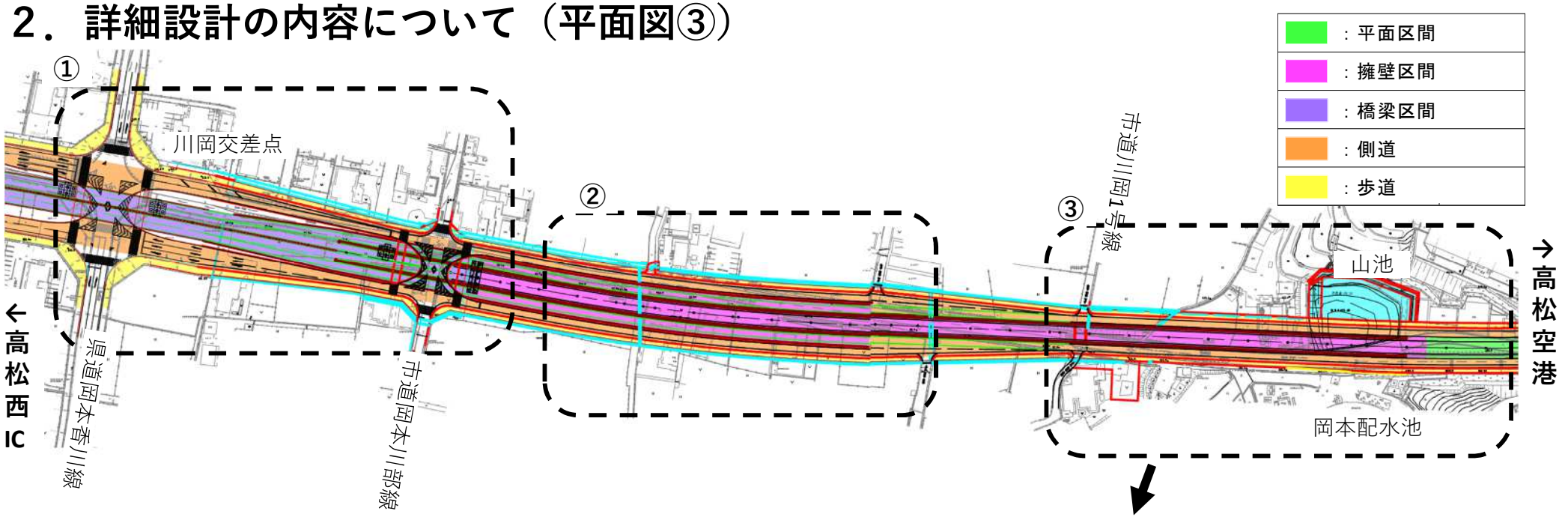
※平面図等は現段階のものであり、変更となる可能性があります

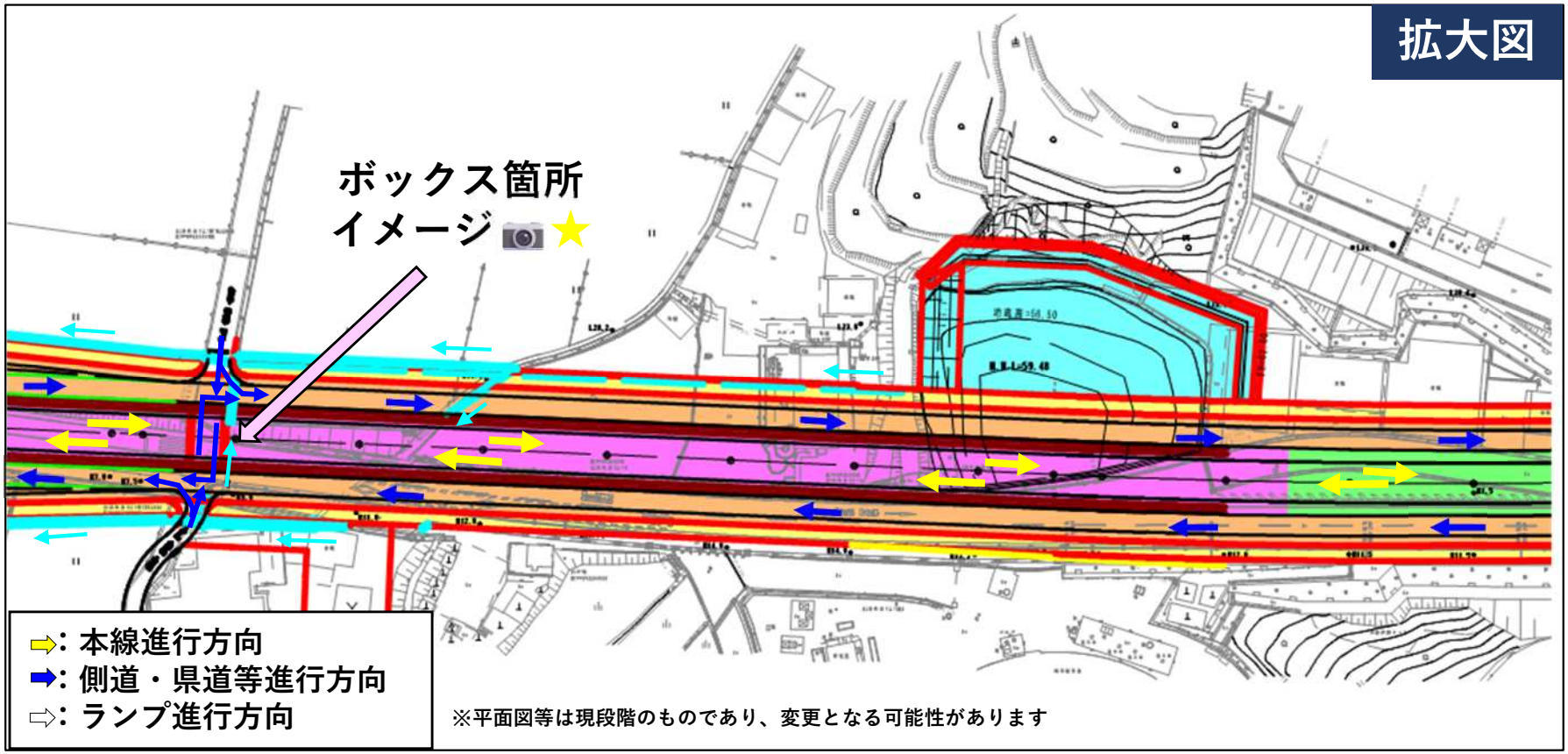
2．詳細設計の内容について（平面図②）





2．詳細設計の内容について（平面図③）





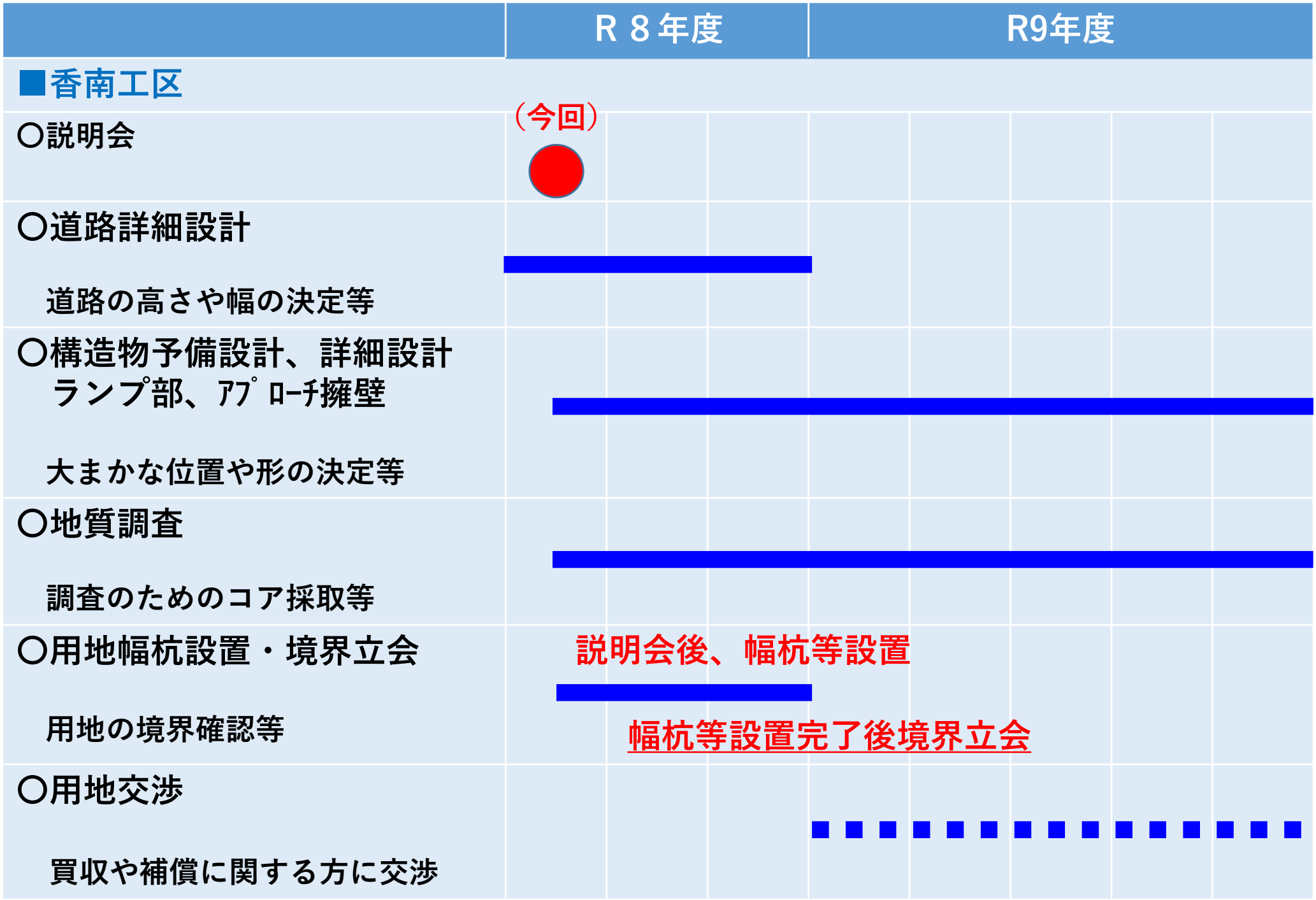
※平面図等は現段階のものであり、変更となる可能性があります

ボックスイメージ写真

横断部の構造：香南こども園から北へ約300mの交差箇所



3．今後の事業の進め方について



※現時点での予定であり、作業の実施状況によりスケジュールが前後する可能性があります。